神奈川県倫理法人会 後継者倫理塾 広報誌



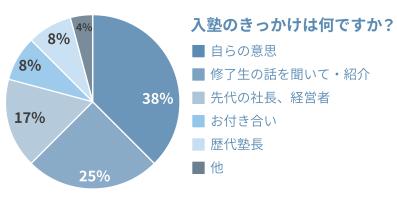


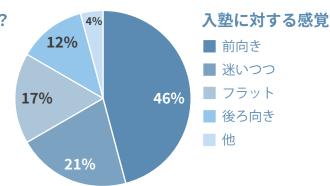


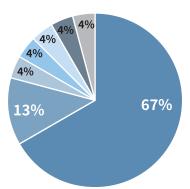
第一弾!修了生のホンネ/

「後継者倫理塾とは何か。実際のところ、どうなのか?」 修了生にアンケートを実施しました!









入塾前に戻ってもまた参加した いと思いますか?

- 絶対に参加したい
- 秘密です
- 少し迷う
- ■できれば避けたい(笑)
- ■「絶対に」ではないが、参加したい(笑)
- 伊勢修養団研修内の水行が真夏ならば、絶対参加したい(笑)
- 時間は戻らないので。また過去の塾があったので 今の運営ができるので戻りたいと思わない。



後継者倫理塾への入塾を勧められた (提案された)とき、どのように思いましたか?

- 少し興味があったぐらいです。
- ・「どんな事が学べるんだろう?」「ワクワク!」
- ・知らない間に申し込みされておりました。・倫理の10年分の学びが、1年で出来ればいいんじゃないか。



「後継者倫理塾」とは

倫理法人会における後継者育成に特化した塾です。月1回(全10回)の宿泊セミナーのほか、富士高原 研修所や伊勢修養団研修、また経営者モーニングセミナーのレポートをはじめとした課題等を通じて 経営者や後継者として必要になる様々な能力を磨く場です。

詳細は神奈川県倫理法人会公式HP「後継者倫理塾第8期生募集」をご覧ください。

第4代目塾長:信太大輔



後継者倫理塾の活動内容について(1)どのような活動が楽しかったですか?

- ・仲間との修了発表づくり。特にグループ発表は自分達で栞を読み込み、理解を表現するのが 辛くもあり、楽しくもありました。
- ・塾生時代は楽しいという感覚はなく、どの活動も自己研鑽の糧にしようと思っていました。
- ・研究発表を仲間と一緒に作ったこと。

(2) 大変だった活動は?

- ・大変なのが当たり前だと思っていましたし、どの活動も 楽ではありませんでした。
- ・個人発表で、5分のスピーチを毎回するのが苦痛でした。 人前で喋るの苦手なので。
- ・全部大変でした。
- ・分からない事ばかりで、ほぼ全部でしたが特に、スケジュール感がタイトで時間に追われていた事と朝が早い事。
- 伊勢修養団研修内の五十鈴川での水行。

(3) 好きな活動や嫌だった活動など エピソードは?

- ・好きも嫌いも与えられた課題と向き合って やるのみ。
- ・100 日実践では普段、恥ずかしくて言いづらかったことも文章にすることで伝えることが出来た。

後継者倫理塾を修了してみてどうでしたか?

- ・感情が豊かになりました。素直な心で仲間との繋がりに感謝が溢れ、笑顔でいることが自然になりました。
- ・父の事業 (不動産賃貸業)の後継者でしたが自覚がありませんでした。塾をきっかけに、祖父の代まで遡り想いを知ることができたのはほんとに素晴らしい体験となりました。
- ・普段の仕事や私生活では学べない、気づけないことを色々と学べて、成長を感じた。
- ・一泊二日を約 10 回。長く濃い研修を通してできた仲間との絆は、単会でできた仲間以上に尊いものだと感じている。

修了後の周囲の反応はどうでしたか?

- ・人が変わった?らしいです。(あまり怒らなくなった)
- ・信太さんには、顔が優しくなった。と言っていただきました。
- ・我儘だった自分が人の話しに耳を傾ける様になったこと。
- ・従業員から変わりましたねと言われた。
- ・会社を引き継ぐ使命感を伝えてもらいました。
- ・変わったと言われることが多かった。具体的には、表情が柔らかくなったとか笑顔になったとか。



あとがき

第一弾、いかがでしたでしょうか。

本アンケートは無記名で掲載することを前提に実施したこともあってか、赤裸々な内容も多く見受けられました。いずれの修了生にも共通するのは、受講期間中の活動を通じて、多忙な日々の中で予定を確保し、自身の課題に対して全身全霊で集中して真剣に向き合い、実践を繰り返すことになった時間が大きな気づきに繋がり、自己の変化につながったと言えそうなことではないでしょうか。こちらに掲載しきれなかった回答結果は次号やSNSでもご紹介していきます。 最後までご拝読いただきありがとうございました。次号をお楽しみに! (文責 飯田/デザイン 風間)

令和7年 神奈川県倫理法人会 広報委員会「疾病信号チーム」 石田敏久 (リーダー/横須賀市)・飯田夕里香 (横須賀市)・坂本祥生 (相模原市橋本)・風間陽子 (横浜市青葉区) ・協力:後継者倫理塾 運営および修了生のみなさま (ありがとうございます!)





Facebook Instagram